

はしがき

■ 本書の編集方針

英文読解力の養成を目的とした長文問題集の多くは、単語・熟語・文法・構文に関する理解に焦点を置いた精読中心のもので、しかし、最近の入試長文問題は、要旨選択問題・主題選択問題・内容真偽選択問題など、文法的な詮索や一語一句の意味を問うのではなく、文章全体の主題・要旨・結論などを的確に把握しているかどうかを見ることに重点が置かれています。

こうした問題傾向に有効な英語長文の読解法が《パラグラフ・リーディング》なのです。

「木を見て森を見ず」になりがちな英文読解演習ですが、本書は「木ばかりではなく森も見る」パラグラフ・リーディングの技法を駆使して、英語長文の文章構成・主題・要旨・結論などを効率よく、的確に把握できるようになることを学習の目的に編集しました。

◆ パラグラフとは？

パラグラフ (paragraph) は、いくつかの文 (sentence) が集まってできたもので、日本語では「段落」と呼ばれます。しかし、それは単なる文の集まりではなく、そこには次のような原則が認められます。

●パラグラフ全体を貫く1つの「主題」と「筆者の主張」を中心に、密接に関連しあったいくつかの文が有機的なまとまりを形成しています。

●パラグラフの主題を簡潔に述べた文を「主題文」といい、その主題をいくつかの「支持文」が支え展開し、主題を明確にします。

◆ パラグラフ・リーディングとは？

《パラグラフ・リーディング》とは、上に示した英文の特徴を利用して、個々の文や語句の分析に焦点を当てるのではなく、主題文と支持文の関連に注意しながら、パラグラフ全体で筆者が「何について」「何を言おうとしているのか」を論理的に読みとるための文章の読解法です。

《パラグラフ・リーディング》の効用は、文章を効率よく正確に読み、結論が読みとりやすくなる点にあります。また、英文中に意味のわからない単語があっても、文章全体の流れや前後の文脈からその意味を推理する力が養えます（仮にある単語の意味がわからなくとも、文章全体の要旨がつかめていれば読む目的は達せられているのです！）。これは、森という全体像が見えることで、逆に木の枝ぶりも見えてくるようなものです。

■ 本書の構成と特色

① 本書は、全体を4つの **UNIT** に分けて構成しました。UNIT 1とUNIT 2では単独のパラグラフ（約60～100 words）を、UNIT 3とUNIT 4では複数のパラグラフから成る

文章（約250～300 words）を題材としました。

UNIT 1……パラグラフの主題文を見つけよう ⇨ 主題文発見のテクニック

UNIT 2……パラグラフの展開のしかたを理解しよう ⇨ パラグラフの論理展開

UNIT 3……複数のパラグラフから成る文章を読んでみよう ⇨ 複数パラグラフの論理展開

UNIT 4……ためしてみよう!! ⇨ パラグラフ・リーディング 応用問題

UNITとLessonが進むにつれて、「易⇨難」へと学習レベルが徐々に進展するよう配列してあります。

② UNIT 1とUNIT 2では、Lessonごとに【IMPORTANT POINTS】としてパラグラフ・リーディングをする際に重要な技法を1つずつ紹介しました。UNIT 3では、LessonごとではなくUNITの冒頭で【IMPORTANT POINTS】をまとめて説明し、それらの重要項目にそって各Lessonで演習できるようにしました。

③ 問題文（英文）は、主に大学入試センター試験の説明文や論説文を材料にしてあります。

④ 【NOTES】には少々難しめの単語や熟語の意味を示し、辞書を引く回数を軽減することで、英文に対する集中力を切らさずにすむようにしました。

⑤ 問題は、UNIT 1とUNIT 2では各Lessonとも【基本問題】（1題）と【演習問題】（2題）の2つのレベルに分けました。UNIT 3では【演習問題】（1題）のみです。UNIT 4は応用問題編になります。

⑥ 【演習問題】の設問は、問Aと問Bの2種類を設けました。問Bは大学入試問題そのままの設問で、問Aは問Bの正答を導くために設けた問題です。パラグラフや文章を立体的・有機的に読めるように、図表・チャートの完成問題を盛り込むなど、理解の徹底のための工夫してあります。この問題を解くことが、まさに《パラグラフ・リーディング》なのです。

本書によって、諸君の英語の長文読解力（特に概要・要旨を把握する力）が飛躍的に伸びることを心から期待しています。

平成12年9月

編者

◆ 効果的な英文読解のためのアドバイス ◆

- (1) 推理を働かせながら読む。
- (2) 何がどうしてどうなったのか、を意識しながら読む。
- (3) 世間一般の常識や経験を利用しながら読む。

1 テーマは何？ 何が言いたいのか？

■ IMPORTANT POINTS

- パラグラフは主題を示す文（主題文）と、それを支えながら説明したり、例証したりする文（支持文）からできています。主題文がどれで、何を主張しているのかがわかれば、そのパラグラフ全体が理解できたことになります。
- パラグラフ・リーディングとは、そのことを念頭において、筆者が全体を通して、
(a) 何について（テーマ） (b) 何を述べているのか（結論・主張）を把握する読解法です。

基本問題 ——— 主題文を発見しよう！

① English is spoken by pilots and airport control operators on all the airways of the world. ② Over 70 percent of the world's mail is written in English. ③ More than 60 percent of the world's radio programs are in English. ④ Clearly English is an international language.

[NOTES] airway「航空路」 over = more than ~「～以上」

問1 このパラグラフは何について書かれているか、最も適当なものを次の①～④の中から1つ選べ。

- ① the world's airways
- ② the world's mail
- ③ the world's radio programs
- ④ English

問2 筆者の最も述べたいことを表現した文（主題文）を、上のパラグラフの文①～④の中から1つ選べ。

CONTENTS

UNIT 1 パラグラフの主題文を見つけよう

Lesson 1 テーマは何？ 何が言いたいのか？ 5

Lesson 2 主題文を発見して、筆者の主張をとらえよう 8

Lesson 3 「道しるべ語」に注目して、主題文を発見しよう 11

Lesson 4 KEYWORDS に注目して、主題文を発見しよう 14

Lesson 5 Should などの助動詞をたよりに、筆者の主張を読みとろう 17

UNIT 2 パラグラフの展開のしかたを理解しよう

Lesson 6 パラグラフの展開の型を学ぼう 20

Lesson 7 「時間順」型のパラグラフの流れを読みとろう 23

Lesson 8 何と何を「比較・対比」しているかを読みとろう 26

Lesson 9 「具体例」と主題・結論を関連づけて読もう 29

Lesson 10 「原因・理由と結果」の関係を読みとろう 32

Lesson 11 「指示語」に注目して、論理の展開をたどろう 35

UNIT 3 複数のパラグラフから成る文章を読んでみよう

UNIT 3 の IMPORTANT POINTS 38

Lesson 12 複数のパラグラフの論理展開を読みとろう (1) 40

Lesson 13 複数のパラグラフの論理展開を読みとろう (2) 42

Lesson 14 複数のパラグラフの論理展開を読みとろう (3) 44

Lesson 15 テーマを確実にとらえよう (1) 46

Lesson 16 テーマを確実にとらえよう (2) 48

Lesson 17 結論を読みとろう (1) 50

Lesson 18 結論を読みとろう (2) 52

Lesson 19 パラグラフ間の論理的な関係を読みとろう 54

UNIT 4 ためしてみよう!!

Lesson 20 パラグラフ・リーディング 応用問題 (1) 56

Lesson 21 パラグラフ・リーディング 応用問題 (2) 58

Lesson 22 パラグラフ・リーディング 応用問題 (3) 60

Lesson 23 パラグラフ・リーディング 応用問題 (4) 62

演習問題 1

① The launching of artificial earth satellites is commonly looked upon as an exploration of space. ② True, we are learning about space by means of rockets and satellites. ③ But we are also learning about the earth. ④ From space, we can see the earth as never before. ⑤ The chief mission of many satellites is to investigate phenomena related directly to the earth. ⑥ Space exploration, to some extent, is also an exploration of the planet on which we live.

[NOTES] launching 「打ち上げ」 artificial earth satellite 「(地球を周回する)人工衛星」
 look upon A as B 「AをBとみなす」 exploration 「探検」
 by means of ～ 「～を手段として」 mission 「使命」 investigate 「調査する」
 phenomena 「現象」 to some extent 「ある程度」

問A 次の表は、上のパラグラフを要約したものである。空所(a)～(c)に適切な漢字を2字ずつ書き入れて完成させよ。ただし、同じ記号の空所には同じ漢字が入る。

主題	人工衛星による (a) の探検
----	-----------------

文① ～⑤	支持文	人工衛星により、(a) のことがわかるが、今まで見ることができなかった (b) の (c) も知ることができる。
文⑥	主題文	(a) の探検は、また (b) の探検でもある。

問B パラグラフの内容に最もよく合うものを、次の①～⑤の中から1つ選べ。

- ① The only mission of satellites is to investigate space.
- ② Space is less difficult to explore than the earth.
- ③ Space exploration has nothing to do with the investigation of the earth.
- ④ Rockets and satellites inform us about the earth as well as about space.
- ⑤ Man has little to gain from an exploration of space.

演習問題 2

① Nearly all of us now and then wish that we had made better use of our time. ② Instead of starting his homework, the schoolboy watches television; the housewife interrupts her shopping to have a talk. ③ Afterwards they may regret it. ④ But being sorry is no use at all. ⑤ Sometimes we feel that if only we could organize our days efficiently we could achieve much more.

[NOTES] now and then 「ときどき」 make better use of ～ 「～をもっとじょうずに使う」
 interrupt 「中断する」 regret 「後悔する」 be no use 「むだである」
 efficiently 「効率よく」 achieve 「達成する」

問A 次の表は、上のパラグラフを要約したものである。空所(a)～(f)に適切な漢字を2字ずつ入れて完成させよ。

文①	主題文	もっと (a) をじょうずに使いたいという (b)
文② ～④	支持文	(c) や (d) たちが、時間をうまく使わず、(e) している実態
文⑤	主題文	毎日を (f) 的に組み立てて、もっとよい成果をあげたいという (b)

問B パラグラフの内容に最もよく合うものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① Few people feel completely satisfied about the way they use their time.
- ② Schoolboys and housewives waste more time than anyone else.
- ③ Most people do not worry about the time they waste.
- ④ Most people wish they had more time to do everything they want to.